

第二地連宿泊学習会開催！



東京清掃労働組合

埼玉県草加市「埼玉屋旅館」 令和元年7月6日～7日

第二地連新聞

発行	責任	任
第二地連	集責	長
第二地連	教宣	部
東京労働二	清掃組	地
第	二	連

2019年7月27日
第79号

第二地連 事務局長

東海林 一久

7月6日(土)～7日(日) 埼玉県草加市にある「埼玉屋旅館」にて、2019年度東京清掃労働組合第二地連一泊学習会が開催され、4区4支部から講師を含め31名が参加しました。

◆ ◆ ◆
開会にあたり、原田議長から、支部で抱えている問題・悩みを報告しながら意見交換を含め、課題を共有していくことと挨拶がありました。



初日講演では、本部の

泉田常任中央執行委員より「都区財政調整制度の仕組みと問題点」をテーマに、都と区の財政関係について講義があり、東京都・23区が協力してやっていく都区制度の重要課題を学ぶことができた。税金等の都と区の配分状況、清掃費の総括表をもとに基準となる財政需要額の計算式を学習しました。都区財政調整制度は今も未完成であり問題点も多く残されていることも報告の中で言われていました。

夕食交流会では、各支部の紹介をおこない、お酒を交えながら他支部の仲間と有意義な交流をすることができました。

◆ ◆ ◆
2日目は、本部の西村副委員長より「一組清掃工場をめぐる現在の状況

と課題」についてDVD(清掃工場編)を観てから講演をいただきました。資料等の説明を聞きながら、一組清掃工場の現状を学ぶことができました。



また、清掃工場への不適正搬入物による影響について、清掃一組今後の施設整備計画について学習をしました。

◆ ◆ ◆
続いて、各支部より「各区の31年度予算・人員・作業計画総括をいただきました。本来、ごみ推計量から人員・機材が算出されるべきですが、各区当局は「人ありき」の計画策定を主張し、各支部とも厳しい闘いを強いられています。また、水俣条約の締結により多くの区で不燃ごみの資源化に向けた取り組み報告がありました。



地連としての総括では、各区での計画等は独自性が更に強くなり異なる作業形態において、将来に渡り不安を感じている組合員は少なくない現状。引き続き地連内の情報の共有化を密にし「学習と交流」を基軸とした取り組みを行い、直営堅持・質の高い公共サービス・区民に身近な清掃事業の確立・新規採用の獲得等、安心して働き続けられる職場を確立していく為、各区における粘り強い交渉の強化の必要性を全体で確認しました。

その後、東海林事務局長の全体集約を行い、原田議長の「団結がんばろう！」で一泊学習会が終了しました。(了)

参加者の声

◆ 荒川支部

蒔田和好さん

今回、初めて第二地連一泊学習会に参加しました。埼玉屋旅館に到着して、1日目は本部の泉田常任中央執行委員より、

東京都・各区における財政の講義がありました。

日頃、財政について話を聞くことがないので難しさはありましたが、とても勉強になりました。お時間の都合上、最後まで聞くことができなかったのが少々残念でした。

その後、交流会がありとても美味しい料理をたくさん頂きました。

事務所は違えども、皆様と和気あいあい話ができ、交流会の名の通り皆様と楽しく交流することができました。

2日目には本部の西村副中央執行委員長より、工場での作業内容について講義がありました。研

修などで多少はわかってはいましたが、改めて工場で勤務されている方々の大変さが身に染みてわかりました。

1泊2日の短い時間でしたが、第二地連とは一致団結、同じ方向を向き一丸となり闘っていると感じました。参加された仲間の皆さん、お疲れ様でした。

来月の第二地連ゴルフ大会にも参加させていただきますので、よろしくお願ひします。

◆ 文京支部

飯田雅俊さん

今回3回目となる第二地連一泊学習会に参加させていただきました。

初日は北区の泉田さんから都区財政調査制度の仕組みと問題点について学習をしました。最初は難しい話だと思っていましたが説明がとても分かりやすく、いい学習ができました。

その後は各区の交流会で交流を図りました。



二日目は清掃一組清掃工場をめぐる現在の状況と課題について西村副委員長より講演をしていただきました。まず初めに本部で作成した「自然にやさしく 人にやさしく」という清掃工場編のDVDを鑑賞しました。清掃工場のことを知らない自分にとつては清掃工場のことを知ることができたのでよかったです。

今回の第二地連一泊学習会も毎回違う学習ができるので、また来年も参加したいです。

◆ 北支部

中村廣志さん

7月6日(土)、7日(日)の2日間にて第二

地連一泊学習会が開催されました。

原田議長、西村副中央執行委員長の挨拶後、早速学習会となりました。

一日目は、泉田常任中央執行委員より、「都区財政調制度の仕組みと問題点」についての講演をう

けました。その中で、大都市財源の都区関係では、都区が協力して行政を行っていることや、都区財政調整制度では、役割と制度の概要を学び、

大都市財源の都区間配分問題に決着がついておらず、都区制度改革が未

完であることを知りました。残念であったのは、時間の都合上途中で講演を切り上げなければなら

なかったことでした。二日目は、西村副中央執行委員長より、「工場をめぐる現在の状況と課題」についての講演をう

けました。東京清掃が製作したDVDの目的や基本的な考え方の説明後、DVD鑑賞をしました。

水銀や不燃物の混入、直営職員数の減少、工場停

止による他工場への影響、死亡事故等、様々な問題を抱える中で、安全を最優先に技術、技能を継承していくことに職員一人ひとりが奮闘し取り組んでいることを学びました。

この二日間で学び得たことを支部に持ち帰り、伝え共に学びあえたらと思います。学習会に参加された各支部の皆さん大変お疲れさまでした。

◆ 台東支部
片岡良亮さん

毎年参加させて頂いて思う事は、講師の方をはじめ、企画運営に携わるスタッフの皆様の尽力に、感謝の一言に尽きる



と言う事です。本当に疲れました。

初日の講演で学んだ「都区財政調制度の仕組みと問題点」では、主に財政の面から我々が置かれている立ち位置を学びました。日頃考えもしなかった観点から、我々の事業がどのように成り立っているのか知る事が、今後の組合活動において理論武装をする上で、非常に重要であると気付かされました。

二日目、西村副委員長から講義を受けた「工場をめぐる現在の状況と課題」では、収集運搬の先の処理処分と言う課程が、清掃工場の仲間の奮闘で成り立っている現状を学び認識を新たにしました。聞かなければ考えもしない様々な問題がある事を、我々は知り共有して行かなければならな

いと思いました。この学習会を来年も開催出来る事を願い、多くの組合員の皆様にも是非参加して欲しいです。

